

報道関係者各位  
プレスリリース

2014年11月5日

グローバルセキュリティエキスパート株式会社  
株式会社ビジネスブレイン太田昭和 情報セキュリティ研究所

## GSX・BBSのネットワーク脆弱性診断を実施した 倉敷中央病院の導入事例がリリースされました

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区西新橋1-2-9、代表取締役社長：松本 松仁、<http://www.gsx.co.jp/>、以下GSX）及び株式会社ビジネスブレイン太田昭和（本社：東京都港区西新橋1-2-9、代表取締役社長：石川 俊彦、<http://www.bbs.co.jp/>、以下BBS）は、倉敷中央病院（岡山県倉敷市美和1丁目1番1号、理事長：大原 謙一郎、<http://www.kchnet.or.jp/>）が実施したGSX・BBSの提供するネットワーク脆弱性診断を実施したことを発表します。

### ◆導入事例掲載内容

CASE STUDY 導入事例 倉敷中央病院  
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院様  
プラットフォーム診断 Webアプリケーション診断

#### 医療機関への不正アクセス事件増加を背景に 先手を打ったネットワーク脆弱性診断とは

検査を実施するまでは無事とした不安があり、いつ何が起こるか分からないという危機感を抱いていました。しかし、検査により明らかになった脆弱性から想定される攻撃や被害を詳細に解説して頂き、また対策についても有益な具体的なご提案が得たので、現状で実施している脆弱性診断が対応できたと考えています。

倉敷中央病院 情報システム部 部長 原川 敏行 氏

倉敷中央病院は、1923年（大正12年）6月2日、倉敷病院株式会社社長、大原孫三郎によって創設されました。

大原はクリスチャン・石井十次（岡山加尾院の設立者）の影響で、独自の人道主義（後に人格主義と改める）を育み、社会から格別な賞は社会に還元するという考えのもとに、労働者の健康を是め、大原農學院研究所、大原社会師範研究所、倉敷労働科学研究所、大原美術館等を設立しました。当院の創設も、そうした彼の理想の現れの一つであり、開設当初より倉敷労働科職員はもとより、広く地域住民の診療を行いました。

現在は病床数1,161床、職員数約3,000人を擁し、救命救急センター、総合産科母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、岡山県災害拠点病院などの施設認定を受ける、高度医療を担う地域の急性期総合病院となっています。

#### 脆弱性診断の実施背景

このネットワーク脆弱性診断を実施した倉敷中央病院様が、当社グループのサービスをどのように活用したのかを常務理事及び情報システム部の第二方に、インタビューを担当したBBSの情報セキュリティ研究所 小田部からインタビューをさせて頂きました。

小田部 ます、診断のきっかけや背景をお聞かせください。

倉田様 昨年、医療機関への不正アクセス事件が増加傾向にあり、当院もその対応に着手したところですが、

以前はサイバー攻撃の多くは金融機関や製造業、行政機関が対象でしたが、これらの業種では対策がかなり進んでいることも、これからは明らかに医療機関もサイバー攻撃のターゲットになっているという時代に差し掛かっていると感じています。

小田部 院内にどのような課題がございましたか？

前田様 当院に設置している不正侵入検知システムが過去に検知したアクセスのうち、外部からのネットワーク攻撃と思われ不正アクセスを確認していました。念のため既に既許のセキュリティシステムより防御出来てはいたのですが、万一突破されたら深刻な影響を及ぼす可能性のある攻撃が複数回発生していたことを確認しています。

小田部 外部ネットワークを活用した医療連携やマイクンバーに対応した医療情報共有の取り組みが、今後はますます病院を取り巻くネットワークサービスの重要性は増していきます。そのような中、病院としてどのような解決策を検討されましたか？

前田様 当院には外部との接続があるサーバや地域の医療機関との連携を行うサービスが稼働していることから、今後そのような危険性があるのか速やかに調査しなければならぬという思いがありました。これは院内のIT情報セキュリティ委員会事務局でもある情報システム課が主導して対応を検討しました。

倉田様 また、インフラ運用へのサイバー攻撃事例にもなるように、インターネットに接続されていない制御機能も、

倉敷中央病院 情報システム部 部長 原川 敏行 氏  
倉敷中央病院 情報システム部 部長 藤川 敏行 氏  
倉敷中央病院 情報システム課 係長 前田 貴之 氏  
株式会社ビジネスブレイン太田昭和 情報セキュリティ研究所 小田部 昭

<http://www.gsx.co.jp>

#### サービスの効果・効用に ついて

小田部 今回、ネットワーク脆弱性診断サービスを受けられて、実際の効果・効用についてお聞かせください。

前田様 検査を実施するまでは無事とした不安があり、いつ何が起こるか分からないという危機感を抱いていました。しかし、検査により明らかになった脆弱性から想定される攻撃や被害を詳細に解説して頂き、また対策についても有益な具体的なご提案が得たので、現状で実施している脆弱性診断が対応できたと考えています。

#### サービスの実施内容 について

小田部 ネットワーク脆弱性診断サービスは、まず「①ネットワーク脆弱性診断」を実施し、次にこの検査結果をもとに、サーバやネットワーク機器の運用ベンダーへの「②運用管理状況調査（ヒアリング）」を行いました。これをもとに、評価結果報告書を作成し病院トップへの「③報告会」を実施しました。これらの診断プロセスを受けられたいかがでしたか？

前田様 「①ネットワーク脆弱性診断」では、発見された脆弱性の深刻度、現時点での対策措置を解説した検査結果報告書を作成頂いたのですが、これをもとにセキュリティの保守ベンダーを病院に集め、「②運用管理状況調査」を実施しました。これにより、なほその脆弱性が存在することによって、発生要因が確認でき、病院として脆弱性に対して迅速な対応を取ることができたと思います。

藤川様 「③報告会」では、病院トップ向けに発見された脆弱性を事例をもとに分り易く説明して頂き、今後の脆弱性発生を未然に防ぐための管理運用での対策提案も行う頂きました。更に脆弱性診断結果の件数により、当院のセキュリティの実施水準の現在位置と目指すべきセキュリティレベル目標を客観的に把握することができました。これらの当院トップへの直接提言は非常に有効なプロセスでした。トップの理解が深まりました。なかなか病院でのセキュリティ推進は難しいと捉えていました。

#### サービスの効果・効用に ついて

小田部 今回、ネットワーク脆弱性診断サービスを受けられて、実際の効果・効用についてお聞かせください。

前田様 検査を実施するまでは無事とした不安があり、いつ何が起こるか分からないという危機感を抱いていました。しかし、検査により明らかになった脆弱性から想定される攻撃や被害を詳細に解説して頂き、また対策についても有益な具体的なご提案が得たので、現状で実施している脆弱性診断が対応できたと考えています。

#### サービスの効果・効用に ついて

小田部 今回、ネットワーク脆弱性診断サービスを受けられて、実際の効果・効用についてお聞かせください。

前田様 検査を実施するまでは無事とした不安があり、いつ何が起こるか分からないという危機感を抱いていました。しかし、検査により明らかになった脆弱性から想定される攻撃や被害を詳細に解説して頂き、また対策についても有益な具体的なご提案が得たので、現状で実施している脆弱性診断が対応できたと考えています。

#### 今後の展望 について

小田部 今後、当社（BBS/GSX）に  
変わりはありますか？

倉田様 近年、毎日のように情報セキュリティ事件・事故が起きます。ユーザーサイドだけの情報収集や対策立案には限界があると感じています。また、医療情報の世界で常態であることが、他業種ではそうではないことも多いため、これらも部社には医療情報の重要性を踏まえて、第三者としての目録での助言を頂きたいと思っております。

藤川様 今後は、脆弱性診断のみならず、段階的に体系的な情報セキュリティの強化・整備を実現していきたいと思っております。例えば、職員の教育、ドキュメント整備などの情報セキュリティ管理するための仕掛けの構築です。今回の脆弱性診断は、今後これらの対策を実施する非常に良いきっかけとなりました。

倉敷中央病院 情報システム部 部長 原川 敏行 氏  
倉敷中央病院 情報システム部 部長 藤川 敏行 氏  
倉敷中央病院 情報システム課 係長 前田 貴之 氏  
株式会社ビジネスブレイン太田昭和 情報セキュリティ研究所 小田部 昭

<http://www.gsx.co.jp>

GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS  
サービス提供元  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9  
日比谷ビル4階21F  
TEL: 03-3507-1360 FAX: 03-3507-1361  
<http://www.gsx.co.jp>

BBS BUSINESS BRAIN  
株式会社ビジネスブレイン太田昭和 (BBS)  
情報セキュリティ研究所 提供元  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9  
日比谷ビル4階21F  
TEL: 03-3507-1310 FAX: 03-3507-1311  
<http://www.bbs.co.jp>

### ◆導入事例内容の概要

岡山県西部の中核的な医療機関であり、病床数 1,161 床・職員数約 3,000 人を擁し、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、岡山県災害拠点病院などの施設認定を受ける、高度医療を担う地域の急性期基幹病院となっている倉敷中央病院は、昨今急激に増加している病院・医療機関への不正アクセスの実害状況を鑑みて、ネットワーク脆弱性診断（プラットフォーム診断及び Web アプリケーション診断の結果分析・報告書作成、運用管理状況調査、報告会実施）を実施しました。実施背景や経緯などの詳細は下記 URL よりご覧ください。

倉敷中央病院「ネットワーク脆弱性診断」導入事例：

<http://www.tiger1997.jp/case/kchnet.html>

\*この度ネットワーク脆弱性診断を実施した倉敷中央病院が、当社グループのサービスをどのように活用したのかを倉敷中央病院様に、コンサルティングを担当した BBS 情報セキュリティ研究所 小田部からインタビューをさせて頂きました。

倉敷中央病院の情報システム部副部長、藤川敏行氏は次のように述べています。

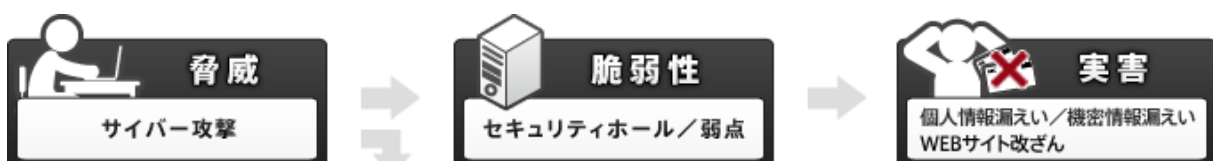
「検査を実施するまでは漠然とした不安があり、いつ何が起こるか分からないという危機感を抱いていました。しかし、検査により判明した脆弱性から想定される攻撃や被害を詳細に解説して頂き、また対策についての方法も具体的にご提供頂けたので、現状で判明している脆弱性は対応できたと考えています。」

「今後は、脆弱性診断のみならず、段階的に体系的な情報セキュリティの強化・整備を実現していきたいと思います。例えば、職員の教育、ドキュメント整備などの情報セキュリティを管理するための仕組みの構築です。今回の脆弱性診断は、今後これらの対策を実施する非常に良いきっかけとなりました。」

### ◆脆弱性診断とは

ネットワークシステムに内在する脆弱性の有無を診断することを、脆弱性診断と言います。脆弱性診断によって検出した脆弱性に対して対策措置を実施し、システムのセキュリティレベル向上に役立てる事を目的として実施します。

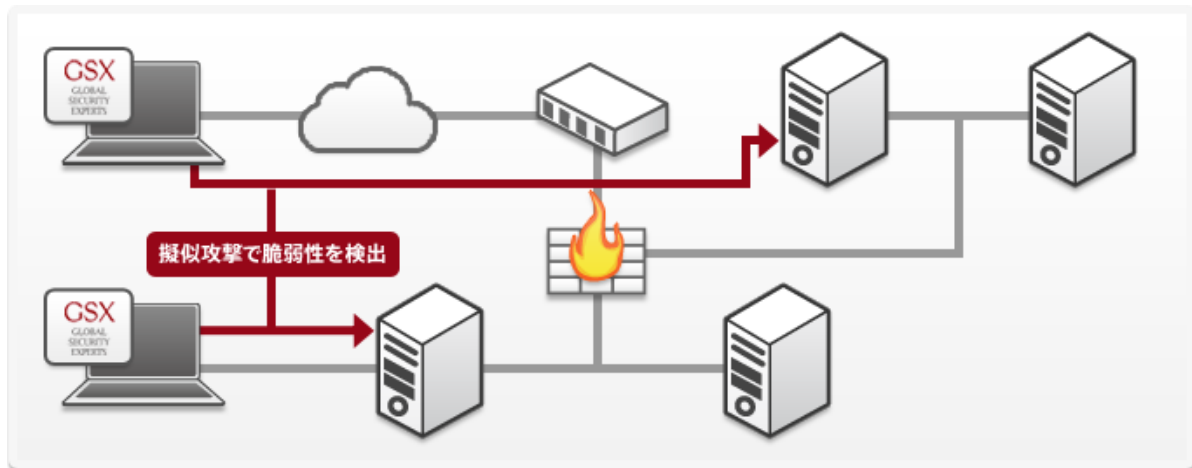
サイバー攻撃などの脅威があり、脆弱性を突かれた場合、実害に至る可能性があります。逆に言えば、脆弱性を突かれなければ（無ければ）、実害には至りません。つまり、脆弱性診断をもとにした対策措置を実施することで、脆弱性を無くしていくことが、サイバー攻撃などの脅威に対するセキュリティレベル向上に直結すると言えます。



脆弱性がなければ脅威は無効

◆GSX の提供する脆弱性診断サービス「タイガーチームサービス」とは

GSX の専門エンジニアによる脆弱性診断サービスの総称です。ハッカーと同様の技術を持つ専門エンジニアが、お客様のネットワークシステムに擬似攻撃を実施し、脆弱性の有無を診断します。検出した脆弱性については、その詳細な内容と対策措置までを、結果報告書に取りまとめてご報告します。



報告内容をもとに対策措置を実施して頂くことで、  
**セキュリティレベル向上**に寄与します。

TIGER TEAM の由来は、元々米海軍の特殊部隊を表す軍事用語からきており、アメリカでは現在、ハッカーと同様の手口を用いてネットワークシステムの欠陥を調査する専門家チームを表すようになりました。

GSX でも、豊富な経験と高度なセキュリティ技術を持った専門家チームを編成し、タイガーチームを発足させました。と同時にお客様のネットワークシステムのオープン化にともない、1997年にシステムの脆弱性を検査する手法として、ハッカーと同様の手口を用いてネットワークを外部からチェックし、セキュリティホールと呼ばれる不正アクセスが可能なネットワーク上の欠陥を検出してレポートするサービスを、タイガーチームサービスとして提供を開始しました。これら

は一般に、ペネトレーションテストと呼ばれています。

また、GSXは2002年3月22日に英国規格協会（BSI）より「BS EN ISO9001:2000」の認証を取得しました。これは、タイガーチームサービスに対し、「ネットワークセキュリティの監査及び評価」の範囲で認証（認証番号FS66176）されたものです。ISO9000による品質保証の証明として、高い技術に裏打ちされたタイガーチームに所属する検査員の豊富な経験を元に、作業手順を定型化しています。それを実施し、記録及び検証することにより、高クオリティの診断サービスを常に維持し続けています。

現在、タイガーチームでは、脆弱性診断サービスだけでなく、セキュアコーディング研修や脆弱性診断に関するガイドライン作成、不正アクセス対策ソリューションの導入支援や不正アクセス対策に関わるアドバイザーなど総合的なコンサルティングサービスを提供しています。

#### ◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社  
本社 : 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-2-9 日比谷セントラルビル 21F  
代表者 : 代表取締役社長 松本 松仁  
資本金 : 2億7,000 万円  
コーポレートサイト : <http://www.gsx.co.jp/>  
タイガーチームサービス : <http://www.tiger1997.jp/>  
事業内容 :

国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として2000年に設立され、セキュリティ診断、セキュリティポリシーの導入、リスクマネジメント、システム実装、監視サービスにいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。

情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会（BSI）のBS7799（現ISO27000）を日本に初めて紹介し、高品質な情報セキュリティコンサルテーションを行っています。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の検出のために侵入検査などさまざまな診断を行う「タイガーチームサービス(TIGER TEAM SERVICE)」や標的型メール訓練サービスを始めとする新しい脅威に対抗するソリューションをご提案する「サイバーセキュリティサービス」を組織しております。

「サイバーセキュリティサービス」は、GSX サイバーセキュリティ研究所（GSX Cyber Security Research Institute）を要し、セキュリティ製品評価やサイバー攻撃に関する情報収集及び分析、セキュリティインシデント対応要員の育成を進めており、問題指摘のみならず、インシデントに対する解決策までをワンストップで提供できる体制を整えています。

◆株式会社ビジネスブレイン太田昭和 情報セキュリティ研究所について

社名 : 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 (BBS)  
本社 : 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-2-9 日比谷セントラルビル 22F  
代表者 : 代表取締役社長 石川俊彦  
資本金 : 22 億 3,349 万円  
コーポレートサイト : <http://www.bbs.co.jp/>  
情報セキュリティ研究所 : <http://www.bbs.co.jp/service/consulting/security.html>

なぜ情報漏えいは無くならないのか? BBS 情報セキュリティ研究所は、この命題に対して、「組織」とそこで働く「人」に着目して真正面から向き合い、その解決策を考えます。特に重点分野としては、BBS グループシナジーを活かした「医療分野のセキュリティ」に取り組んでいます。

昨今、IT 技術の進歩や新たなネットワークサービスの進展により、海外からの不正アクセスを含むサイバー攻撃による情報漏えい事故が増えており、病院・医療機関への不正アクセスの実害が発生した事例が出ています。

ネットワークを活用した医療連携やマイナンバーに対応した医療情報の取り組み等、今後ますます病院を取り巻くネットワークサービスの重要性は増して行きます。

また、インフラ産業へのサイバー攻撃事例にもあるように、外部ネットワークに接続していない制御機器においても、思いがけない方法で情報漏えい事故が起きる可能性があり、病院のシステム全体で安全対策を講じる必要があります。

そのためには、ネットワーク脆弱性診断を実施することで、現在の病院ネットワークとシステムの弱点(脆弱性)を見極め、「システム」に加えて「組織」と「人」の観点から、実現可能な対策を検討することが重要です。

BBS 情報セキュリティ研究所は、医療現場における情報漏えい事故の本質を見極め、情報をいかに安全に利用するかを主眼においた病院・医療機関の情報セキュリティを提言します。

**【本件のサービス提供元】**

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 事業開発部 マーケティング室  
TEL : 03-3507-1360 (代) E-mail : [mktg@gsx.co.jp](mailto:mktg@gsx.co.jp)

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社ビジネスブレイン太田昭和 (BBS) 情報セキュリティ研究所 担当 : 新井  
TEL : 03-3507-1310 E-mail : [sarai@bbs.co.jp](mailto:sarai@bbs.co.jp)